

東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211



飲んで美味しく
料理のかくし味でも大好評!
http://www.gyokuroen.co.jp

紙面について

●電話 03-6910-2201
(土日祝日除く) 9:30~17:30
●FAX 03-3595-6935

東京新聞ホームページ

TOKYO Web
www.tokyo-np.co.jp

本紙記者が
ツイッターで
つぶやいています
東京新聞政治部
東京新聞けいざいデスク
東京新聞写真部
東京新聞鉄道クラブ
東京新聞文化部
東京ちゅん太(生活部)
東京レター(外報部)
東京エンタメ(放送芸能部)

米軍、反対派2人拘束

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設先に隣接する名護市の米軍キャンプ・シュワブのゲート前で二十二日、名護市辺野古移設に反対する沖縄平和運動センターの山城博治議長ら二人を米軍が拘束した。身柄の引き渡しを受けた県警名護署は、正当な理由がないのに基地内に立ち入ったとして、日米地位協定に伴う刑事特別法違反の疑いで、二人を逮捕した。関連の面

基地内立ち入り疑い 名護署が逮捕



沖縄・名護署前で、拘束された沖縄平和運動センターの山城博治議長らの解放を求める人=22日午後

抗議する市民ら約五百人が一時、名護署の前に詰め掛け「拘束は不当だ」と非難。市民らが敷地内になだれ込まないよう警察官約二十人が警備に当たると、周りは騒然となった。那覇市の八十代の主婦は「拘束者が出れば、辺野古移設反対の行動が起ころしくなると思っているかもしれないが、そうはいかない」と話し、二人はすぐに釈放されるべきだと訴えた。キャンプ・シュワブのゲート前では、拘束された二人が参加を予定していた辺野古反対の集いが開催。約二千八百人(主催者発表)が「辺野古埋め立て断固阻止」の横断幕を掲げ、「新基地建設反対」とシュプレヒコールを上げた。

日米地位協定の実施に伴う刑事特別法第2条で正当な理由なく米軍が使用すること、または区域に入ることを禁じる規定がある。違反した場合、最高で懲役1年。米軍

日本最西端の沖縄県・与那国島(与那国町)で二十二日、陸上自衛隊沿岸監視部隊配備の是非を問う住民投票が実施され、即日開票の結果、賛成が六百三十二票で、反対の四百四十五票を上回った。政府の配備推進を承認した形。誘致派の外間守吉町長は記者団に「非常に安堵した。行政運営がスムーズにできる」と述べた。反対派には大きな打撃だ。陸自配備は、海洋進出を活性化させる中国に対抗し、政府が掲げる南西諸島の防衛力強化の一環。配備予定地では既に造成工事が進んでいる。誘致派は陸自配備による人口の増加で税収が増え、島が活性化すると主張し、国境の島の防衛力強化も訴えた。反対派は、部隊が装備する監視レーダーの電磁波

稲嶺進名護市長は、拘束は許されないと批判し「強い力に対抗できるのは唯一の」と連帯を求めた。

与那国島の陸自配備 住民投票は「賛成」

により健康被害が出ると強調、自衛隊に頼らない町づくりを呼び掛けている。安全保障問題を扱う住民投票で、永住外国人を含む中学生以上の町民に投票資格を与えた点でも議論を呼んだ。

外間氏は二〇一三年八月の町長選で陸自誘致を掲げ三選を果たしたが、一四年九月の町議選(八議席)で誘致派が三人、反対派が三人となり、議会議力が拮抗。誘致派が議長を選出したため住民投票条例が反対派らの賛成多数で可決された。町選挙管理委員会によると投票資格者は千二百七十六人で、うち永住外国人は五人、中学生以上の未成年者は九十六人。投票率は85.74%だった。防衛省によると沿岸監視部隊は百五十人規模で、一六年三月末までに配備予定。

「辺野古」2800人集会直前

「東京マラソン2015」(東京マラソン財団主催、東京新聞など共催)が二十二日、東京都庁から臨海副都心の東京ビッグサイトまでのコースで行われ、国内外の一流選手や市民ランナーら三万五千七百九十七人が銀座や浅草など都心の観光名所を駆け抜けた。沿道で百七万四千人が声援を送り、関連イベントに四十五万一千人が集まった(人数は主催者発表)。関連の面



東京マラソンで都庁前を一斉にスタートする大勢のランナー=22日午前、東京都新宿区で(坂本亜由理撮影)

厳重警備 無事「完走」

九回目の今大会は、過激派組織「イスラム国」(Islamic State)を名乗る組織による日本人入国事件を受け、テロを警戒して厳重な警備を実施。警視庁の警察官がランナーと一緒に走る「ランニングポリス」が初めて出勤するなどしたが、混乱はなかった。

マラソンには三万五千二百八十人(車いす十七人)、日比谷公園でゴールする十*の部には東日本大震災被災地の高校生や障害者ら四百八十七人が出場。全体で三万四千五百二十八人が完走し、完走率は96.5%だった。



マラソン男子はエンデシヨール・ネゲセ、女子はベルハネ・ディババのエチオピア勢がそれぞれ初優勝。日本勢の最高は男子の今井正人(トヨタ自動車九州)、女子の扇まどか(十八銀行)がいずれも七位だった。

約一万一千人のボランティアが給水やコース整理など運営を支えた。五千人を超えた外国人ランナーに対応するとともに、二〇一〇年東京五輪・パラリンピックも見据え、英語や中国語など五カ国語の語学ボランティア約二百五十人を初めて配置した。

東京マラソン 3万5797人

初節句 一人も殺したことがない

平本 萌子(31) 東京都狛江市

「へいとうせいこう」激しく、切実な句である。子供を見て、人を殺す運命になってほしくないと思う。そして今の平和の重みを感じるのだ。

2015.2.23

平和の俳句
戦後70年